雄物川改修工事（雄物川放水路工事）

2010年6月　工藤宣雄

時期	工事着工　　完成 大正6年　　昭和13年4月 1917年　　1938年
総工費	1470万円（完工当時） 325億円 （平成3年時で換算）
効果	秋田市街区域の水害防止（特に楢山地区）　財政の悪化 （洪水は疫病を発生させ、家屋の流出被害、地価の低下を招いた。） ＊現在まで水害が続いたとすれば被害総額は2100億円に上るものと試算される。 ＊完工から平成元年まで。
	土砂の埋め立てによる工業立地の造成 近代的製造業の進出 茨島地区　三菱金属鉱業㈱。東北肥料㈱。吉野石膏㈱。 新屋地区　東北パルプ㈱。 工業出荷額（秋田運河沿いの工場） 総額　2000億円
	土崎港の整備（土砂が放水路により直接海へ流れることになり、港の整備が容易になった） 大型船の入港が可能になった。 満州国が建国されており、大陸との貿易窓口の必要度を増した。
背景	国家発展の基礎となる秋田の戦略的なポジションを国家が認識した。 秋田は豊富な金属資源、木材を産出する。 具体的には 銅鉱石。亜鉛鉱石。　尾去沢鉱山など。 石油。　八橋油田（石油の時代は少し後へずれ込む。） 木材。　秋田杉など林業。 水。　雄物川。

＊羽越北線は大正12年に開通すると魁紙は報じている。
＊秋田大橋は着工が昭和7年（1932年）。完成昭和9年（1934年）である。　架橋費用78万円（当時）。
尚、秋田大橋は平成14年（2002年）新しく架け替えられた。
＊昭和16年（1941年）新屋町は秋田市へ編入された。
土崎港町、寺内町、広山田村も同時。

出典　国土交通省東北地方整備局秋田工事事務所発行
秋田大橋ーその70年に感謝を捧ぐ！